

背景・目的

- ✓ 各地で自然災害による被害が頻発しており、災害への対応力強化が求められ、特に初動対応では「仮置場」の運営等が課題として挙げられることが多い。
- ✓ また、災害対応を経験した職員の退職異動等により、災害廃棄物対策を担う人材の育成と経験の継承が課題となっている。
- ✓ このため、仮置場の設置・運営・搬出までの一連の流れを実地で体験する実地演習を東北地方環境事務所と宮城県で共同で開催する

訓練概要

日時：令和6年8月～10月

会場：宮城県内

演習会場選定の考え方

市町村等で仮置場候補地としての運用を想定している場所

参集範囲：宮城県内市町村 災害廃棄物対策担当者

東北ブロック協議会メンバー

演習カリキュラム



訓練項目	具体的な取組内容	備考
設置計画訓練	災害廃棄物発生量推計、仮置場面積推計、仮置場レイアウト作成、公報チラシ作成	東北地方環境事務所人材育成事業
設置訓練	コンクリートブロック(トーフ)設置、敷鉄板敷設、飛散防止ネット設置	東北地方環境事務所人材育成事業
管理運営訓練	搬入車両の受付、荷下ろし	宮城県災害廃棄物対策事業
保管物管理訓練	温度管理／飛散防止・粉じん対策、濡れた畳の重量体験、ドローン測量、大型車両による搬出	東北地方環境事務所人材育成事業



【設置訓練(敷鉄板敷設訓練)】



【管理運営訓練(搬入車両の受付訓練)】



【保管物管理訓練(車両での搬出訓練)】